

舍利寺小学校跡地検討会議（第2回） 会議録

1. 日時

令和7年2月21日（金） 午後7時から

2. 場所

舍利寺会館

3. 出席者

●検討会議メンバー

池原ユミ委員、猪股康利委員、大谷幸重委員、岡田恵司委員、
川本眞知子委員、草薙義雄委員、西村洋三委員、花岡健夫委員、
康村美幸委員

●生野区役所

川楠政宏 生野区役所まちづくり推進担当課長
山崎智弘 生野区役所安心まちづくり担当課長
杉山百合子 生野区役所まちづくり推進担当課長代理
森本晴久 生野区役所地域まちづくり課担当係長（司会）
坂中彩乃 生野区役所地域まちづくり課担当係員

●傍聴

なし

4. 議題

- （1）跡地活用で特に望まれる要件について
- （2）地域コミュニティ機能の継続について

5. 会議資料

- ・ 次第
- ・ 議事資料 第2回舍利寺小学校 学校跡地検討会議
- ・ 参考資料1 生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想 概要版
- ・ 参考資料2 生野南小学校跡地活用計画 概要版
- ・ 参考資料3 舍利寺小学校使用状況

6. 会議内容

森本地域まちづくり課担当係長

本日はお忙しいところ、また、お寒い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、「第2回 舍利寺小学校跡地検討会議」を始めさせていただきます。私は本日の司会進行を務めます、生野区役所地域まちづくり課担当係長の森本です。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

それでは議題に入ります前に、会議の位置付けについて、ご説明させていただきます。本会議は、大阪市の「審議会等の設置及び運営に関する指針」に沿って、生野区役所が主催する「行政運営上の会合としての会議」として、開催をいたします。なお、本市の規則によりまして、会議は原則公開とし、後日、事務局にて、本日の内容を取りまとめた、ニュースを作成し、まち協内の掲示板への掲出や、区役所のホームページでの掲載、町会での回覧をお願いするなど、いたしますので、録音や撮影について、ご了承のほど、よろしくお願い申しあげます。

次に、本日の配付資料について、ご説明いたします。まず、「舍利寺小学校跡地検討会議 第2回の次第」がございます。次に、表紙が青色の「第2回 舍利寺小学校 学校跡地検討会議」と記載された、本日の議事資料がございます。次に、参考資料1として「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想 概要版」がございます。続いて、参考資料2として「生野南小学校跡地活用計画 概要版」がございます。最後にですね、参考資料3として「舍利寺小学校使用状況」がございます。資料はお揃いでしょうか？よろしいでしょうか。ありがとうございます。資料がお揃いでない場合は、事務局からお持ちいたしますので、お手を挙げてお知らせください。よろしいでしょうか？ありがとうございます。

本日の跡地検討会議でございますが、生野区長の筋原も出席させていただく予定でございましたけれども、他の公務のために欠席させていただいております。ご了承くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、議事に入ります。資料は表紙が青色の「第2回 舍利寺小学校 学校跡地検討会議」と記載された資料をご覧ください。それでは資料に沿いまして、まちづくり推進担当課長の川楠よりご説明させていただきます。

川楠まちづくり推進担当課長

まちづくり推進担当課長川楠です。どうぞよろしくお願いいたします。着座で説明させていただきます。順番にちょっとめくっていただきましてですね、まあ目次と言いながら、この間のおさらい的なことですね、にもなっているかと思いますが、ちょっと今日は、この順に沿ってご説明させていただきます。

まず次のページ、1ページでございます。左肩に、四角で一番と書いてありますので、その1番を見てください。こちら、跡地活用の基本的な考え方ということで、避難所機能・コミュニティ機能の維持ということでございます。生野区西部地域は密集住宅市街地ということでございますので、避難所、防災拠点として非常に重要であり、また地域の行事、非常に愛着を持って、皆さん行事をされているということもあります。地域拠点としても重要であるということ踏まえまして、閉校する小学校の跡地につきましては、防災拠点、地域コミュニティの拠点として、民間事業者への貸付などしながら、地域のまちづくりにつながる活用を伺っていくということが、基本的な考えということでございます。

また「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」の概要版を資料としてつけておりますけれども、こちらの方ですね、ご意見いただきながら、策定してきたということもございます。この跡地活用にあたりましては、この「まちづくり構想」に基づきましてですね、校舎・校地を核としたまちづくりや、まちの活性化、持続可能な利用方法について、地域の皆さま方のニーズ等を踏まえながら検討していくこととしております。

2 ページでございます。「まちづくり構想」を基にした跡地活用の基本的な考え方を項目で分けさせていただいております。1 から 6 番ということで、1 番「防災拠点としての機能」、2 番「地域コミュニティ機能」、3 番「パブリックマインドと地域連携・地域貢献」公共的な思いを持った事業者が進出して欲しいというようなことです。4 番は持続可能であるということで「跡地運営のスキームの導入」、5 番学校跡地だけではなくて、その地域・エリアへの活用効果ということで、そういったことも視点としてあります。最後に「まちづくり構想の『学び』の視点」ということ、こちらですね、学校の跡地について、「みんなの学校」というような形で捉えてですね、まち全体に波及していくような、学びの視点も重要であるということです。

3 ページでございます。そういったことをですね、事業者を募集するにあたりましては、前提の条件ということで設定をいたしまして、前提の要件と望まれる要件ということで分けておりますけれども、他の跡地と共通してですね、こういう精神を求めているというふうに思っていることが 6 項目ございます。それにプラスいたしまして、皆さま方から、委員の皆さま方からですね、ご意見を頂戴いたしまして、この舍利寺地域として望ましい要件というのをプラスしていきたいというふうに、跡地活用の事業者の方に守っていただきたい、そういったものをできる事業者を募集したいと思っておりますので、これについて、皆さんから今日ご意見をいただきたいという風に思っております。

4 ページでございます。基本的な事業運営のスキームといたしまして、この間のマーケティングリサーチの結果なども踏まえまして、こういった形でまとめております。基本的には、ひとつの事業者が跡地全体を借り上げて運営するという形です。あと貸付の趣旨に相応しい、提案内容やそういったものが、そういった趣旨に相応しいと判断できる場合は、全体を転貸することはできませんけれども、必要最小限の範囲で転貸することは可能とするスキームを考えております。貸付方法につきましては、舍利寺小学校は校舎等をそのまま残し

て、他の跡地と同じように定期建物賃貸借契約ということで、建物を貸し付けるということで、概ね 20 年程度の貸付を想定しているということです。

～他都市の跡地活用事例について紹介～

5 ページでございますけれども、これはもうちょっと参考程度に思っていただけたらいいんですけれども、事業者が活用するにあたりまして、本市の事業者の費用負担の区分ですね、そういったものを分けて記載させていただいております。こういったものを分担して、事業に取り組んでいくということでございます。

6 ページでございます。6 ページがですね、跡地活用にあたりまして、これから事業者とですね、確認がそれぞれ必要になってくるかなという項目、全部あげております。これだけで足りないこともあろうかと思っておりますけれども、例えば、鍵をどうするかですね、避難所開設をまず整理してから、いうようなこととかですね、施設提供することが地域住民の交流の場として提供してください、そういったことは当然ですよ、いうようなことを、1 個 1 個確認して、いうことを考えて、やっていきたいと思っております。

7 ページはですね、これまでからもですね、ご説明の中にも入れさせていただいておりましたけれども、事業者が公募の末ですね、決まりまして、運営を開始するという、その前には必ず地域へのご説明ということはしてくださいよ、というようにことをちょっと条件にしたいんですね。そのあと、活用が始まりましたらですね、定期的に事業者、それから地域の皆さま方、それから区役所、我々、3 者による運営協議会、こういった会議の場をですね、持たせていただいて、事業運営の状況をチェックしていきたいなというふうに思っています。そういったところを、参考にするために活用状況、運営状況のモニタリングというのは、項目を我々定めまして、定期的にチェックして参りたいということでございます。

8 ページ。それで、本日の議題ということでございます。現在、第 1 回を昨年の 9 月に開催させていただいてお集まりいただきました。その時に、この検討会議の位置付けでありましたり、跡地活用どういった形ですね、進めていくのかというような考えをお示しをさせていただいて、意見もちょうだいしたところでございます。本日は第 2 回ということで、先ほど申しました舍利寺小学校の跡地活用で、特に望まれる要件についてということで、皆さま方からご意見賜りたいと思っております。また、そのあとですね、地域コミュニティ機能の継続についてということで、地域行事等ですね、行っていたりするあたりについても確認をして参りたいというふうに思っております。もう 1 つ、防災機能ですね、防災拠点としての位置付けが重要であるというところのお話、ご意見をちょうだいする場として、次のですね、第 3 回ということで、次の会議ですね、避難所機能の確保についてについては、ご意見ちょうだいして参りたいと思いますので、今日のところは、第 2 回の議題、跡地活用に望む、事業者に対して望む要件、そういったところのご意見と、地域コミュニティの継続についてのご意見を中心にうかがって参りたいと思っております。

それが 9 ページでございます。参考にですね、他の先行している跡地活用の学校ですね、跡地でですね、舍利寺地域で今決めて、ご意見ちょうだいして決めていきたい、特に望まれる要件の他の事例でございまして、御幸森地域は「多文化世代が共生できる場所とすること」「校区域ならではの文化を生かした、様々な学びの機会が得られる場所とすること」というような要件を追加いたしまして、その上で募集した結果、最終的に食を中心とした複合施設いうところが、進出しているということでございます。生野地域ではですね「校舎周辺エリアの特徴を活かし、エリアとのつながり・波及が見込める教育機関など様々な学びの場となるもの」ということでインターナショナルスクール。林寺地域においては「地域と共存共栄し地域活性化に寄与する教育機関など様々な学びの場となるもの」ということで、インターナショナルスクール。生野南地域ではですね、「子どもも大人も『新たな学び』と『交流／居場所』の機会が得られる場所であるもの」ということで、学校法人でございます。専門学校が

今は進出しておりまして、何年かしましたらですね、通信制高校というような形で、ちょっと中身変えていくといった、学校法人、1つの学校法人が一体を借り受けてますので、それが何年後か変わるっていうことになっております。今、勝山地域の方でもですね、勝山小学校の跡地検討会議を開催をしております、そこでも特に望まれる要件というのは、一定その会議の場でご意見ちょうだいして、このような形でですね、決定をさせていただいたと。で、公表もさせていただいているところがございます。参考にこれ載せております。「地域と共存共栄し、地域活性化や交流に寄与する教育機関など『様々な学びの場』や『多世代の繋がりを育む憩いの場』となるもの」という要件を望まれて、つけていくということでございます。今後、勝山地域においてはですね、また条件整理しまして、市場調査を行いまして、そのあと、事業者公募というふうに流れを作っていきたいと思っております。

ここで、舍利寺地域として、跡地活用で特に望まれる要件ということに対しまして、皆様方からご意見を頂戴して参りたいと思います。なかなかすぐに文章で完成させるのは難しいと思っておりますので、何かキーワード的なものとか、こういう活用であつたらいいなという思いの部分であるとか、そういったことでも結構ですので、何か一緒になってまとめていく、参考となるようなお言葉をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

検討会議メンバー

9ページの要件の「地域と共存共栄」云々ですね。これは、耳障りのいい言葉だが、ちょっとマクロ的で、あまりこう、部分的な、詳細にわたってないと感じたんです。それで、今日本日ご出席の皆さんがどう思ってるか知らないんですが、9月からこの2月で第2回なんですけれども、舍利寺にこういう施設とか、こういう組織とか、来ていただくというイメージが、私はまだ今のところ、すぐ湧かないんですよ。まず1つお聞きしたいのは、これ第2回ですけども、検討を進めていって、ある程度の回が来たら、もうそこで打ち切るのか、それとも徹底的に私たちの意見を聞いていただけるのか。いま第2回ですけども、皆さん

でするのは、6回や7回だけですよというもののなのか。そのようなことをお聞きしたいのと、例えば先程ご紹介いただいた音楽学校、これはもう素晴らしいと思う。しかし舍利寺小学校に本当にその音楽学校が、そういうふうに募集して、来ていただけるものか疑問ですけどね。個人的には、僕の理想としては、そういう学校が来れば嬉しいかなというふうに思います。インターナショナルスクールもよろしいし、民間のご商売で使うのもいいけど。かと言って、うちの会社の舍利寺営業所として貸してくれと言えは貸してもらえるのか。いや、本当です。だから、限られてくるんですよ。だから、皆さん、この第2回の検討会議に臨まれるときに、こういうのは理想だなあというイメージがちょっと湧いてないかなと、今の段階ではね。だからむしろ、あまり私たちの意見がないようでしたら、今までの参考例に倣って、舍利寺をこういう施設、組織はいかがでしょうかというふうにご提案いただくこともあるかも分かりませんがね。これは僕個人の意見で、皆さんそれぞれの意見を述べて、話していただいたらいいけど。今この場でさっとイメージが湧きにくいかなと思うんですよ。そやけど、ご紹介いただいた音楽施設ね。あれは個人的にはいいと思いますよ。舍利寺のイメージが上がるのであればね。そういうところが来ればいいですけどね。

川楠まちづくり推進担当課長

音楽院がたまたままちづくりの方針に乗って進出されたという事情もありますので、舍利寺で募集したからといってそこが手を挙げてくるかっていうところも、やっぱり公募になりますんで、分からないんですけども、我々今ご意見をいただきたいのは、そういったところが進出できるような、要件といいますかね。例えば勝山は、高齢者や子どもたちが一同に集まって遊べる憩いの場とか、そういったところであって欲しいとか、あとやっぱり学校の後は学校と、区長がこないだからずっと言ってるように、学校の後は学校が親和性がやっぱり高いよねとかいうようなこともお考えになられて、そういった教育機関であったりとかで、色んなことが学べる場であって欲しいなというようにことを、いろいろご意見をいただいて、我々の方で一つの文に要件として整理したということでございます。これをいつまでにやらなあかんのかっていうのは、

正直なところ、我々はできるだけ早いほうがいいと思っています。それはなぜかと言いましたら、やっぱり閉校してから、ずっと長いこと経っていつてますので、施設・設備に痛んでいる部分とか、ポツポツ出てきてまして、地域の皆さまが活動されるときに、トイレが使えないなどご迷惑をおかけしてる部分があるかと思います。それをできるだけ早く事業者に入ってもらって、事業者が使いやすいように改修しながら、地域の方にも使ってもらえるようにしていきたいなと思っております。それが何回会議やったらええねん、というような、会議の回数に制限はないですし、今日第2回、次第3回で、いただいたご意見をまとめて、我々が一文に整理して、舍利寺地域としてのご意見はこれでもいいですねと、強引に進めるつもりもありますが、今日いただいたご意見も参考にして、皆さん、会議の議論をお聞きになって地域に戻られて、また地域の方々からお声をまた集めていただくなりして、次回第3回に、それを持ち寄っていただくという形ではどうでしょうか。我々としては、できれば早く進めていく方が得策かなとは思ってるんですけども。

検討会議メンバー

前に、生野小学校と林寺小学校と舍利寺小学校と、大きな工事というような、建物を修理したと。そういうことが何年前かありましたよね。そんなに頻繁に、補修とか、そういうものをするものなんですか。

川楠まちづくり推進担当課長

それは、跡地活用で民間の事業者へ貸し出すにあたりまして、今まで学校としてあった間に法律が変わったりとか、例えば消防の、緊急に突入してくるための窓の大きさが小さすぎたりとか、そういう法律に適合してないような状況とかがいくつかあったりとかね、そういったことを事業者へ貸し出すにあたって、最低限、貸主として改修しておくべきこと、それを工事で先に改修させてもらったということで、先に貸しているところもそうなんですけど、舍利寺小学校についても、そういう改修をもう既に実施させてもらってまして、その改修が終わっている状況です。ただ日常的にですね、使うような部分が、水回り

とか、ちょっとずつ傷んでいってることがありますんでね。その辺りはちょっとまた別ということになります。

検討会議メンバー

要はいろんな意見が出ますよね、多様な意見が。結論的に時間が来れば、その最大公約数をとって役所がいろいろ、Aというプラン、Bというプラン、Cというプラン。僕らからD、E、いろいろこうプランが出ますよね。でも、決めないかんよね。ただその時は結局は最大公約数を取ってしまうと、結構、区役所のご意向通りの組織、施設になるのかなあとは思う懸念もちょっとあるんですよね。ただ僕らが、この検討会議の前に、地域の皆さんから、どう思いますかと意見を聞くような、予備会議的なことは、1回も催してないんですね。今度は別としまして。だから、打ち合わせで皆さんの意見を集約して、今日座ってるわけじゃないんですよね。そういうことがちょっと大事かなと。役所の人を前にして喋りにくいもんね。地域だけで、今度、第3回目はどうしようかなというのをね。役所を前にしたら、なかなか言いたいことも言えませんよ。だから、ざっくばらんでこういうふうな話をするようなことも、必要かなと思っています。

検討会議メンバー

ただ、2年ぐらいですか。検討会議で、いろいろ話して、次のステップへ行くのは。

川楠まちづくり推進担当課長

早ければ、1年以内で次のステップに行きたいなというふうに思ってるんです。

検討会議メンバー

1年以内言うたら、日にちないですよ、あんまり。

川楠まちづくり推進担当課長

はい。それは、先程から申し上げているとおり、早く活用をはじめた方が、地域のにぎわいっていう、やっぱり事業者が常にそこにいて使っているのと、地域の方々が何かある時しか、使われないというような状況では、やっぱりちょっと寂しいかなって言うのもありますので。

検討会議メンバー

他の跡地の要件を読みますと、ちょっとね、何かマクロ的で、耳障りはいいい言葉やけど、これはどんなもんが来んねんというふうになりますよね。

川楠まちづくり推進担当課長

具体的にどんな事業者が来るのか、ということだと思います。ただ、他地域の方とお話してた中で、学校が来てくれたらいいなあと考えておられたところもある。学校来てくれたら、ばんばんざいだと。そういう思いも念頭にありながらいろんな意見言ってもらいました。

検討会議メンバー

正式な事業者公募の前だが、舍利寺で応募したいという企業、事業者はいるわけですか。

川楠まちづくり推進担当課長

いろんなところから、この学校どうなりましたって、要は引き合いが、あるわけなんですけども、舍利寺小学校についても、やっぱり舍利寺小学校どうなりましたっていうことは、前々からずっとありまして、いろんなところがきます。学校関係だったりとか、企業関係であったりとか。今、地域の皆様のご意見を伺う会議をやっているところなんでって言って、ご理解いただいています。引き合いがあるのは間違いないです。

検討会議メンバー

舍利寺連合の中でビックな企業があつて、学校跡地を舍利寺連合振興町会が使いなさい、毎月の賃借料は企業が負担するから、というようなことがあるかもしれない。もし、舍利寺連合で使いたいとなったら？

川楠まちづくり推進担当課長

基本的には公募ということで事業者を募集する形になりますので、事業者として引き受けることができる団体として組織を整えて、事業計画などいろいろ作っていく必要がある。この中でも、いろんな事業を営まれて、いろんな企業とタッグを組んで共同事業者で進出したらどうかなどとお考えの方もいらっしゃるかもしれないんですけども、公募に応募されたら、果たしてこの収支計画は成り立つのかとか、実現可能性があるのかとかいうようなところも審査される。また、このような「特に望まれる要件」にも合致してるかというところも、当然、判断材料になりますから、そういったところにマッチしてるんだったら、できる・できないだけで言えば、可能性はあるということになります。そう思いますけれども、難しいところは…。

検討会議メンバー

はいはい、分かります分かります。一度そういうケース、どういうふうに回答しはるのかなと思って。このメンバー内で借りてもいいということですからね。

検討会議メンバー

これは法人でないとだめなんですか。

川楠まちづくり推進担当課長

基本的には企業体とか、学校やったら学校法人といった組織ですね。

検討会議メンバー

年間 10 万円を、あるいは年間 20 万円、賃料の一部を負担してくれるような企業は、5 つ 6 つは絶対ある。ただ、今おっしゃったようにそれが、事業形態とか、いろんな計画を見て審査されると思うが、前から聞いてみたかった。

検討会議メンバー

皆さんで NPO とか作ってとかいうね、連長に理事長なっていただいてとかそういうの本当に、非現実的ではないとも思うんですけどね。今実際やっていらっしゃるところに話をお聞きし、損益計算書みたいなものも見せてもらったりしましたけども、夢物語ではないと思うんです。

検討会議メンバー

年間 1,000 万あれば、600 万円で賃料を払い、あとの 400 万円ぐらいの運営ができるのであれば、私は可能性あるかなと。

検討会議メンバー

今日も外壁工事をしていたが、それはもう大阪市がしてくれますと言うことです。そういうとこまで、こちらにしないといけないようやったら大変やと思いますけども。やっぱ経年劣化とかそういうのは、大阪市でやっていただいて、日々の問題であるとか。

検討会議メンバー

あながち可能性がゼロ（全くない）ということではないもんね。

川楠まちづくり推進担当課長

その辺の役割分担については、5 ページの本市の役割分担案の中で、躯体に関わる箇所の改修、修繕ということで、外壁とか屋上防水とかね、順番でやっていってるんですけど、躯体にかかる、建物の構造に関わるようなところは大阪市、大規模なものは持ちますよと。それ以外の、施設の、日々使うものは、

事業者の勝手がいいように改修してください。それが運営事業者の上のところですね、施設の修繕、改修、改装に要する費用ということで、そういう役割分担の案としてますので、舍利寺小学校の貸し付けができたとしても、順番に大規模な改修は大阪市が計画立てながらやっていく。一方、自らで使う部分はやはり、自らで改修していただかないといけないので、その辺の費用負担については、他の跡地事業者はもう、ある程度の改修ができて、運営が軌道に乗っているかどうかちょっと分からないんですけど、進んでいってるところですが、立ち上げ時は恐らくしんどかったのではないかと思います、はい。そういうところも加味していただいた事業計画でないと、安定した計画ではないというふうなことになる。

検討会議メンバー

すごい漠然とした話で、本当に実現可能か含めて半々ぐらいの気持ちで聞いていたが、可能性はあるという認識を持った。

川楠まちづくり推進担当課長

そのあたり、組織としてきちんと仕立てていただいてたら、不可能ではないと思います。

このまま皆様方から、跡地活用について、こんな事業者が来たらいいとか、皆さんがいっぱい集えるような場所があってやったほうがいいとか、そういうご意見を聞いていってもいいですし、皆さんご自由にご発言いただいた方がいいですかね。

検討会議メンバー

皆さん思っていることをお話しいただいて、集約していただくということで。以前、区長が、学校の後は学校ですねというふうに言っていたが、今のお話聞いたらもっともかなと思うけれども、もう分かりやすいからね。

検討会議メンバー

ただ、学校の後に学校が入ったとき、結構教室も使うということで、防災の拠点、避難場所として確保できるのかなってというのが一番心配ですね。

川楠まちづくり推進担当課長

資料の生野南の跡地活用計画概要版に、学校の避難所はこうなるとか、地域コミュニティはこうなるといようなことを、順番に考えてやっていきますといようなこと書いてあるんですけども。左肩に4、旗の印に4と書いてある4ページに、利用区画を示した平面図ということで、これが災害時には、講堂、グラウンド、多目的室、11教室以上を開放するという、皆様方、第3回以降、防災のお話にご意見をいただきたいという時に、避難所としてどれぐらいの教室を開放したらいいんだろうといようなことをお伺いしたいと思っております、生野南は最終的にこうなったということです。講堂とグラウンドを開放してください、多目的室と普通教室11教室に相当する部分を解放してくださいということで、基本的には、これはそれまでの地域の防災計画に基づいてるものだと思います。そういったことをこれまで4つの跡地で、それぞれこいういうふうに決めさせてもらって、それを開放してくれるという条件を受け入れることができる事業者に進出してもらうという形。

検討会議メンバー

結構、内容としてはすごい遠慮しなくちゃいけないんですよね。もと舍利寺の場合は、全部が今使えるという形で防災訓練もしてますし、ただもう本当に跡地活用されるところが来たとしたら、半分か、半分以下ぐらいになるのかなって。

川楠まちづくり推進担当課長

職員室とか、教室数で言えば…。

山崎安心まちづくり担当課長

例えば、職員室とか校長室とかは、それは今も多分…。

検討会議メンバー

使ってません。

山崎安心まちづくり担当課長

ですよ。それと同じようなレベル感になると思うんです。ただ、地域として、防災、地震が起こって避難所として開けなあかんときに、これ全部空けてくれという形にするのも、条件としてはあり得るんですけども、逆にそうすることによって、その条件でここにしたいと思う事業者が現れないということになる可能性もあるんで、そこも含めて、第3回以降になりますけど意見交換させていただきたいなというふうには思ってます。ただ、もっと多い教室数を開放するよにということを経験として事業者を募集した事例もあります。

山崎安心まちづくり担当課長

生野小学校に関しては結構多めに開けてくださいという話はしていて、それを条件に事業者に来ていただいているという形になります。他の例えば御幸森とかと違うのは、生野小学校はインターナショナルスクールという形になって、仮に夜に地震が起こった場合は、開けていただけるのですが、お子さんがおられるときに、地震が起こった場合、例えば、高校生とか年齢が上の方だったら自分だけでも帰っていくので、そこまで滞留することもない。でも、小さいお子さんでなおかつ、近くに住んでない方が結構おられるので、数日、学校に留まらないといけないっていう可能性もあるということもあって、それを見据えると、実際に地震が発生したときには避難所として開けていただくことでOKいただいているんですけど、子どものこと考えたら追い出されへんやろうということもあるねっていうことで、地域でもいろいろ考えておられるっていうところはあります。ただその辺も、使い方、先ほどの地域として望む要件のところ

に、どういうところが入って来るかによってもちょっと変わってくるのかなというふうには思っております。

検討会議メンバー

災害の規模にもよるからね。

山崎安心まちづくり担当課長

そうですね。

検討会議メンバー

実際ね。ただこの間の訓練では、ちょっと大変やった、大変だったっていうのがね、どこにどういうふうに割り振りするのまでだったから、そういう意味では、ちゃんと確保するものもしっかり私たちも地盤を固めて話ししていかなきゃいけないなど。

検討会議メンバー

以前、生野区役所の防災の方が来て、勉強会があったんですよね。その時に、当時は14町会だったんですね、舍利寺は。今統廃合で13になりましたけども、必ずその教室を1つの教室、ここはどこの町会のですよ、ここはどこの町会のですよ、うちはここですよ、医務室はここですよ、そういうような勉強会を、区役所の皆さんと一緒にやったんですよ。その時はまだ再編の問題でやいやい言うてた時ですから、今のような落ち着いた状況じゃなかったですけどね。その時はね、今この生野南の資料見たら、11教室開放するということは11町会しかないのかなと思ったけど、そうじゃなくてもうちちょっとあったと思うんですよね。だから、1つの町会に1つの教室を、それは、役所の方が、当時の主任がね、そういうふうに丁寧にしてくれはって、そういう資料をもらった記憶がまだ新しいんですよ。そうなってくると、やっぱりこういうような10,11教室ではなかなか、いざいう時にね、そういう全部もう自分の家が住め

ないと、とんでもないようなことが起こった時の話なんですけどね。それでも必要最小限、それぐらいのものを確保しなければいけないかなと思います。

川楠まちづくり推進担当課長

一番、跡地活用が先行してるところで一番厳しい条件、事業者に対して厳しい状態が、全部開放しなさい、という条件をつけておられるところもあるんですけど、それも、基本的にはやっぱり会社であつたり、学校であつたりしても、先ほど言いました職員室ですね、企業情報とか、個人情報とか、パソコン室みたいなね、そういう精密機器とか、情報が集約されてる部屋はそこから除く、というようなことは、やっぱり認めておられるんですね、その厳しい条件つけているところも。だから、やっぱり、より現実的に具体的にお話をしていくということになるのかなと、条件つけるにしても。先ほど、まだ学校であった時代に、職員室も開放してください、ということにはなっていないというふうにおっしゃっていただきましたけど、そういうことなんだろうと。条件を厳しくするにしても。

検討会議メンバー

最終的に決めるのは、地域ですか。役所ですか。

検討会議メンバー

それは役所や。

川楠まちづくり推進担当課長

役所でもなくて、外部の有識者、きちんと皆さん方のご意見や思いは役所からきちんとお伝えします。その上で、そういったものを尊重して、審査してくださいと。そのうえで、それぞれの専門性、防災とか、まちづくりとか、建築などの関係の、そういった専門家が審査されます。

検討会議メンバー

そしたら、今まで全部その専門家が審査しましたの。

川楠まちづくり推進担当課長

はい。

検討会議メンバー

それは役所が選んだ方たち？

川楠まちづくり推進担当課長

この人と思う人に打診させていただいて、3人か4人かずつぐらいだと思います。各校の跡地の選定会議。

検討会議メンバー

全部で何人ぐらいいるの。

川楠まちづくり推進担当課長

各校の跡地に対して別々人を充ててお願いして、4人です。

森本地域まちづくり課担当係長

3人の時もあります。

杉山まちづくり推進担当課長代理

そうですね、大体4人ですね。

川楠まちづくり推進担当課長

どこの地域で、ご説明、お話をさせていただく中でも、必ず今のご意見は出てきます。しかし、大阪市の契約の仕方といいますか、事業者を決める手続き

の中で、やはり地域の方々を入れるということがちょっと難しいということ
で、その辺はもうご容赦を…。

検討会議メンバー

今まで他の地域で跡地の話し合いのときに、その地域で借りたらええやんと
言ったところはありませんか。

川楠まちづくり推進担当課長

いやそれはなかったと思いますね。そういう可能性があるのかといったご意
見があったかもしれないですけども、公式に残ってるようなものは、私も見た
ことはないと思います。ただ、そう考える方はいらっしゃると思いますし、御
幸森は IKUNO・多文化ふらっとが地域で活動されてましたり、そこが
RETOWN という会社とタッグを組んで、共同事業者として応募されましたの
で。

検討会議メンバー

区長、副区長とか課長とか、そういう役所の幹部の方は審査に入らないんや
ね。

川楠まちづくり推進担当課長

我々も関与しません。

検討会議メンバー

地域の思い、話を聞いていただいて、それを…。

川楠まちづくり推進担当課長

そうですね、選定委員にご説明して。

検討会議メンバー

多文化ふらっとは、地域に住んでらっしゃるという方ということでもないんですけど、地域でいろんな活動したりされてる方が理事長や理事に入られてます。それと、RETOWN。だから、あそこは2法人ですよ。

川楠まちづくり推進担当課長

はい、共同事業者として2社でやっています。

企業、団体、組織同士のお話は我々も分からないんですけど、令和4年4月に契約して、もう3年経とうとしています。

検討会議メンバー

一度僕ら第3回の時、ちょっと前もって打ち合わせを1回ね。

検討会議メンバー

前もってね、そうですね。

川楠まちづくり推進担当課長

分かりました。我々も、先ほど申しましたように、早くした方がいいんじゃないかなと思ってるところもございます。

検討会議メンバー

伝わってます。

川楠まちづくり推進担当課長

ですので、地域の方々、町会などへ持ち帰っていただいて、ご意見をまた聞いてきていただく、それで次の第3回にそのご意見をご披露いただくという形にさせていただきますでしょうか。

検討会議メンバー

役所の方がいなかったら、もっとどんどん意見出ると思います。

検討会議メンバー

皆さん、どう？希望か何かあればやけど、やっぱり…。

山崎安心まちづくり担当課長

ご質問とかでも全然。

川楠まちづくり推進担当課長

そうですね。せっかくね、集まっていたいてますしね。

検討会議メンバー

これ、どんどんどんね、こっちの要望が多すぎて、決まらなかった時に、何年ぐらいとかいうのは、役所的には。

川楠まちづくり推進担当課長

役所的には、要するに、その維持していく期間っていうのは、できるだけ早く、いつになったら活用が開始されるのかというのが、市役所の内部からも大分言われてましてね。

検討会議メンバー

うちのことを？

川楠まちづくり推進担当課長

はい。生野未来学園の校区で、舍利寺小学校だけが、まだ活用が始まってないというところなので、いつになるのかというのは、折に触れ、問われます。だから我々としては、できるだけ早くやりたいと思ってますよっていうことを言い続けてるいます。これが続くとうどうなるかというのは、正直我々わからない

い。あと何年ぐらいはまだ大丈夫ですよというのは、今ここではちょっと言えないですけども。

検討会議メンバー

これはある程度一定期間、えいやーで決めるわけじゃない？

川楠まちづくり推進担当課長

そうはなりたくないですよね。

検討会議メンバー

なりたくないということは、なる可能性もあるということ？

川楠まちづくり推進担当課長

そこはもう、当然こういう場でお話ししながら。もうここまで来たらこれで決めていいですかとか、この場で多数決でもいいから決めませんかというのは、当然皆様に投げかけはしたうえで、です。もう聞きました、もうあとは役所で勝手に決めていきます、というようなことはしないです。

検討会議メンバー

良心的ですね。

検討会議メンバー

表面はね。でもなかなかしかしね、なかなか一朝一夕では決まらないよね、難しいよねこれ。

川楠まちづくり推進担当課長

いろんな方がいらっしゃったら、それぞれやっぱり、ご意見とかこんな活用であって欲しいなという、ご意見が違うのは当然だと思いますので。最低限の

ラインっていうのが、そういうふうなところから、ちょっとずつ形にしていくというふうになっていったらいいなと思います。

検討会議メンバー

今聞いてこられてるところは、やっぱりインターナショナルスクールもまたあるんですか。

川楠まちづくり推進担当課長

インターナショナルスクールもありますし、日本語学校とかもあります。私学もあったかと思います。聞いてこられたところは情報としてリストにしまして、そういったところは、大分前に聞いたものも確かにありますけど、もう何年も前に、他の跡地の活用を検討してる時から、舍利寺についても関心をもっていたところもあるので、そういったところはもう違うところを探していかれてる可能性もありますが、また情報は、我々からもこういう公募が始まりますよと、連絡をしていこうと思ってます。やはり注目を集めていかないといけませんので。

検討会議メンバー

交通の便も悪いところやもんね。

検討会議メンバー

素朴な素人の意見なんですけどね。もし事業者が決まって、今まで通りこの地域コミュニティ、生涯学習ルーム事業などいろいろありますよね。そういうのは、今まで通り使うことは？

検討会議メンバー

グラウンドとかは難しい？

川楠まちづくり推進担当課長

ある程度、ご意見を賜ってから次の段階で、そのお話に入らせてもらおうと思ったんですけども、それも一緒にご意見を聞いていきたいと思います。避難所機能、コミュニティの意義ということで、地域活動の場と避難所機能っていうのは維持しますよと、そういう条件を提示したうえで、事業者は進出してくださいねということなんですけれども、学校体育施設開放事業、生涯学習ルーム事業、未来学園に再編され閉校した時点で、条件面をそれぞれの学校で整理をしていただいていたということがありますので、いま活動されているものは舍利寺小学校中心に使っていただいている内容だということで、ある程度整理された状態だと思ってますので、それがそのままできるようにという条件はつけて事業者を公募しようと思っています。

あと地域の行事とか、いろんな活動、イベント、この間、単発的なものもあったかと思います。それらについては、閉校をした時点で地域の行事として活動していた内容をベースにしまして、それが実施できるように事業者に対して条件にしていきたいと思ってます。それが 11 ページが学校体育施設開放事業のグラウンドを使ってる内容ですね。12 ページが講堂を使ってる内容です。13 ページが生涯学習ルーム事業で、教室を使っていたりとかいうことです。地域行事は 14 ページです。閉校になった時点で、活動されてる内容は、このような内容であった、こういうものがベースであったということで、今のところ、こちらを基本に考えて事業者募集していきたいと思っています。こういった内容が、いや、これもやりたいあれもやりたい、もっと開放してくれというふうになると、事業者が事業活動するうえで耐えられるかどうか。やっぱり条件が厳しすぎると手を挙げてくる事業者も、ちょっと気持ちが冷え込んだりとか、実際には手を挙げてこないということにも繋がりがねないので、このあたりどうしていくか、本日、ご意見をいただきましたかったところです。なので閉校になってから、この 1、2 年の間で、これ以外にいろんな活動を舍利寺小学校の跡地でされてますけれども、あれが入ってないなとかっていうふうに、お気づきの行事などあると思いますけど、やっぱりそれは入れてもらわないと地域としては困るということであれば、じゃあ入れましょうかっていう話。で

も、それで事業者が来なくなるかもしれないし、それが原因になるのか公募してみないとわからないですが、一定、線引きはどこかでいると思います。

検討会議メンバー

ということは、使用が大分制限される可能性があるということ？

川楠まちづくり推進担当課長

これは確保しましょうかと決めていくことになると思いますが、これ以外に行っていた部分はどうしますかと。この中でも、これはもうあんまり活動していないから、集まりが悪いから整理していこうかというようなことで、減らしていくというのも、もちろん検討の方向性としてはあるかと思いますが、今すぐにそうはならないと思いますから、基本はこの令和6年度の、今の時点で、閉校時点でやっておられたと把握してる内容。それで、事業者が決まってから、こういう活動を学校の跡地でやりたいというのを、事業者と話し合いをして、新たな活動を認めていってもらうということは、妨げるものではない。

検討会議メンバー

これ今、防災の勉強会なんか毎月第2火曜日の晩に、図書室でしてたりするんですけど、例えばそういうことは？

川楠まちづくり推進担当課長

これは区の行事ということにも関わりますが、選挙の投票所などで使えるようにしてくださいというような条件はつけていきます。防災の勉強会などはすごく意義のあることだと思いますので。それをやっぱり入れときましようかっていうご判断っていうのはもちろんあると思うんです。

検討会議メンバー

防災拠点として残すということですからね。

川楠まちづくり推進担当課長

そうですね。

検討会議メンバー

むしろ、その防災勉強会が一番の冠で置いてもええくらいや。一番力入れて。

山崎安心まちづくり担当課長

その部分に関してまだ言うのも早いかなと思いつつ、地域コミュニティというよりも防災機能の1つの項目として、僕は防災担当なので、入れていかなあかんと思ってます。

川楠まちづくり推進担当課長

ですので、これも、今ここですべて決定というわけではないと思いますので、今、防災勉強会というの、防災の担当も考えてるということで、やっぱりこういうのを確実に残して実施できるようにということは、必要なかなというふうに思います。それ以外にも、こういう活動、こういう行事はやっぱり残しといてくれというようなこともあれば、また次回、聞かせていただいて、条件面を、こういった跡地活用計画の中に盛り込んでいきたいと思っております。

検討会議メンバー

これ第2回で、大体1年を目途とおっしゃってましたね。これちょっとびっくりしたんやけど、1年と言えど、9月と2月で約半年。半年に1回ではなく、今度はもっと頻度を上げていかなあかんねんね。

川楠まちづくり推進担当課長

はい。

検討会議メンバー

1 年って言ったらすぐ来るんじゃないかって。

川楠まちづくり推進担当課長

資料の一番最後のページで、予定のスケジュールのイメージを書かせていただいています。それで、2 ヶ月に 1 回程度、会議をさせてもらいたいなと思っておりまして、令和 7 年度には、この条件面を整理して、事業者に、事業者の候補というか、市場に意向を聞く、マーケットサウンディングという、手続きをとらせていただきたい。だから、いろんな面、条件を整理して、この条件で進出しますか皆さん、ということ一度やらせてもらうんです。そこで手を上げてきたところが、事業者の候補にもなるのかなと。それで、この条件だったら、複数の事業者が手を挙げてくるから、なかなか見込みがあるぞということを一定判断させてもらう。そこで、条件が厳しすぎて難しいというような意見ばかりなら、条件面をもう 1 回整理しましょうか、というようなことを、事業者と対話した結果をまた皆さんにもお示ししますので、そこでまたご意見をもらって、進めさせてもらおうと。それが令和 7 年度中にそこまでいけたらいいなと、次の事業者公募の方に進めたらいいなというふうに思ってます。

ちなみに勝山地域の跡地検討会議は、第 1 回は去年の 3 月下旬にやりまして、また第 4 回は、この 3 月ぐらいにやりたいということで、今、勝山地域の方々とお話してまして、そこでマーケットサウンディングに入っていく前の段階の活用計画の素案を固めさせてもらいたいということで、第 1 回から大体 1 年ぐらいで、一旦、会議を終えられるかなというふうに見込んでるところですね。なので、他の跡地の会議の進行具合も参考にお伝えしましたがけれども、それぐらいの頻度でいければというふうに思ってます。

検討会議メンバー

審査する外部の有識者の方、その方の前でいろいろ候補者が出てきますよね。私たちが応募したときに、舍利寺地域の事業者であると見抜くことはちょっと難しいと思いますけど、可能性として、地域の方がこうやってしっかりし

た事業計画、事業活動をしてるんやと、財政も心配ないとなれば、審査委員は黙って選ぶんじゃないですかね。

川楠まちづくり推進担当課長

それはそうだと思います。跡地活用の基本的な考え方で、パブリックマインドを持った事業者、2 ページを見ていただいたら、3 番のところに書かせてもらってるんですけど、公共的な精神を持っている事業者であって欲しいと。それと、地域連携、地域貢献ということで、地域のために活動する意識を持ってやってくださいということで、地域の方としっかり連携できるっていうようなことも、やっぱり判断材料になってきますのでね。それが、地域の活動でこんな実績を持っていますとか、地域住民の方々がこんな取り組みやっていますとかいうようなことは、ここに舍利寺小学校跡地の事業者として進出した後にも、そういうのは、きっちりと継続してやっていきますというようなことはアピールポイントには、当然なるかと思いますね。なので、ただ単に施設を維持して、維持管理をやってもらう事業者ということだけではなくて、地域の役に立つような地域貢献してくれる事業者であって欲しいというのが、我々や、皆様方のお考え、ご意見だと思いますので、そういった事業者であって欲しい。

検討会議メンバー

いろんなことを総合的に考えてね、いい検討会議を今後ね。はい。

川楠まちづくり推進担当課長

そうですね。最後のゴール地点をいつ頃を目指して、会議を決めていくかということは、また意見交換をさせていただいて、一旦は、次の舍利寺地域として求める要件に対するご意見を、皆様方、地域の方々ともいろいろお話を、ご意見を聞いていただいて、次の第3回でまたお聞かせいただきたい。で、地域の行事などで、これは外せないというようなことがあるのであれば、次の会議でまた聞かせていただきたい。次に第3回、そういう場でさせていただきたいと思いますので、また日程調整、出来たら4月とか5月とか、年度変わりでお

忙しいと思うんですけど、そのあたりぐらいに次の回をやらせてもらえたらというふうに希望を持っております。またご相談させてください。

検討会議メンバー

ということは9月から2月っていうのは、ちょっと間が空き過ぎたということやね。

川楠まちづくり推進担当課長

そうですね。この意見聞く場というのが、年末、12月ぐらいとか、1月2月であれば、今日この場が第3回としてできていたかもしれない。

検討会議メンバー

いやいや課長、今日の検討会議は意義がありましたよ。僕はそう思ってる。

検討会議メンバー

第1回目みたいな感じですね。第1回目の検討会議みたいになっちゃってるけど。まあ、でもね。

川楠まちづくり推進担当課長

また次回会議の日程調整をさせていただきたいと思います。

検討会議メンバー

日程調整ね。はい。

森本地域まちづくり課担当係長

たくさんご意見いただきましてありがとうございました。本日いただきましたご意見につきましては整理の方させていただきました、学校跡地検討会議ニュースということで、取りまとめの方をさせていただきまして、広く地域の方に周知の方させていただきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願い

いたします。それでは以上で第2回跡地検討会議終了とさせていただきます。ありがとうございました。